

排尿のトラブルには色々な原因や症状があります。

日常生活に大きな影響を与える為、お悩みの方は

泌尿器科外来へ！

(なお、受診の際は尿をためてきてもらうと良いと思います)

(採尿することが多いです)

膀胱炎も泌尿器科ではメジャーな疾病です。

膀胱炎になると排尿時の痛みや頻尿、残尿感、尿混濁などの
症状が現れます。

膀胱炎は膀胱内の粘膜が炎症を起こします。また、細菌が腎盂と呼ばれる部位にまで達する場合があります、これを腎盂腎炎といいます。さらに腎盂腎炎から血液中に細菌が侵入すると敗血症となり命に関わることもあります。

過活動膀胱

膀胱に尿が十分に溜まっていないのに、膀胱が自分の意思とは関係なく勝手に収縮するという病気で、急に尿がしたくなって我慢ができません(尿意切迫感)、トイレに何度も行くようになります。

多尿

多尿とは、1日の尿量が著しく増えた状態をいいます。膀胱や尿道に問題がなくても、糖尿病などの内分泌疾患、水分の多量摂取、薬剤(利尿剤)による尿量の増加が頻尿の原因となります。この場合には、1回の排尿量は正常(150~200ml以上)であるにも関わらず、何度もトイレに行くことになります。

頻尿

原因は人それぞれ
原因によって薬の作用が真逆の場合もあります
泌尿器科で検査をして
自分に合った処方をお願いします

感染・炎症

膀胱炎や前立腺炎などの尿路感染が起こると、膀胱の知覚神経が刺激されて頻尿になります。間質性膀胱炎は原因不明で、膀胱に慢性的な炎症を起こす病気ですが、長期間続く頻尿、膀胱充満時の下腹痛が特徴的です。

腫瘍

膀胱がんの重要な症状は血尿ですが、まれに膀胱がんによる膀胱刺激症状として頻尿がみられることがあります。

残尿量の増加

残尿とは、排尿後も膀胱内に尿が残る状態をいいます。前立腺肥大症などによる排尿障害(尿排出障害)が進行すると残尿が発生します。また、糖尿病、腰部椎間板ヘルニア、子宮がん・直腸がんの手術などで、膀胱を収縮させる神経が障害されると、膀胱がうまく収縮できなくなって排尿障害(尿排出障害)を引き起こし残尿が発生します。膀胱内に残尿があると、結果的に尿を溜められる膀胱のスペースが減少するために、1回の排尿量は少なく、何度もトイレに行くようになります。

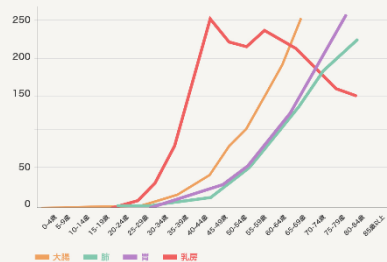
心因性

心因性の頻尿は、膀胱・尿道の病気もなく、また尿量も問題ないにも関わらず、トイレのことが気になって何度もトイレに行ってしまう状態です。心因性なので、夜寝てしまえば排尿のことを気にすることはないので、通常夜間の頻尿はないことが多く、また朝起床時の排尿量は正常です。

乳がん検診受けてますか？

日本では乳がんにかかる女性が年々増加しています。
乳がんはみつかったも、早くに治療すれば、
高い確率で完全に治すことができます。
乳がんの早期発見には日ごろから
乳房の状態を意識する事と
【乳がん検診】を定期的に受けることです。

乳がん罹患率 「国立がん研究センターがん対策情報センター」より



乳がんは日本の場合30歳代から罹患者数が増え始め、
40歳代後半と60歳代後半の2つのピークがあります
「もう私、80歳だから大丈夫よ」という患者さんの声をよく聞きますが
最近では閉経後の乳がんも増加し、70代80代で乳がんになる人も増えています

胃がん検診を受けてますか？

検診で胃がんを早期に発見して治療することにより、胃がんで亡くなることを防ぐことができます。早期の胃がんは自覚症状がない事が少なくありません。
自覚症状がないうちに受けることが大切です。

令和6年度から胃がん検診が受診しやすくなりました。

令和5年度まで

3140 円



令和6年度から

2500 円

消化器疾患術後の栄養指導を当院の
管理栄養士から受けられます。
お気軽に外来スタッフにお声がけください。



患者様にとって、いつも優しく、誠実であること

医療法人
平和会

平和病院



045-581-2211



045-581-7651



〒230-0017 神奈川県横浜市鶴見区東寺尾中台29-1

<http://www.heiwakai.com/>